

10月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者名	請求記号（所蔵あり）
百田尚樹の新・相対性理論	百田 尚樹／著	112 ヒ
コリと痛みの地図帳	石垣 英俊／著	492 イ
掌編源氏物語	馬場 あき子／著	913 ハ
あさきゆめみし（全7巻）	大和 和紀／著	コミック 726 ヤ 1～7
独立記念日	原田 マハ／著	ブンゴ F ル
午後のチャイムが鳴るまでは	阿津川 辰海／著	F ア
螢・納屋を焼く・その他の短編	村上 春樹／著	
天路の旅人	沢木 耕太郎／著	289 ニ
チベット潜行十年	木村 肥佐生／著	

～ 読書会 memo ～

読書の秋です。今回は、7名の方が参加されました。

今回も「源氏物語」を題材にした本が紹介されました。世界最古の長編恋愛小説とも云われ、来年の大河ドラマの題材としても話題です。よく「源氏は若菜（の巻）からが面白い」と言いますが、このドラマチックな物語を最後まで読んだことのある日本人は、あまりいないかもしれません…。

その他、大戦末期から「密偵」として中国大陸西域まで潜入した西川一三（かずみ）の、8年に及ぶ果てしない旅と人生をもとにした『天路の旅人』、セルフマッサージの『コリと痛みの地図帳』など、多彩なジャンルの本が紹介されました。実際に体験した人の知識を読んで得られるのが、本の良い所です。

次回は 11月19日(日)午前11時からの予定です。

※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。